

社会・集団と健康

(Public health statistics, basic epidemiology and p

担当教員名:教授 平山 晃久、准教授 渡辺 徹志

【概要】

本年から衛生薬学の講義は(1)社会・集団と健康、(2)栄養と健康、(3)化学物質の生体への影響、(4)生活環境と健康に分かれており、前2項目は2年次に、後2項目は3年次に講義が行われる。

社会・集団と健康の講義は2年次の前期に行う。人間集団の問題としては、人口、生命関数、疾病、健康の動向などがあり、また、集団内で発生した事例の原因を追究する疫学が含まれる。これらの諸点について薬学者の立場から、化学的知識を十分に活用できるような方向で講義をする。

【授業の一般目標】

社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的知識、技能、態度を習得する。さらに、公衆衛生の向上に貢献するために、感染症、生活習慣病、職業病についての現状とその予防に関する基本的知識、技能、態度を習得する。

【成績評価方法・基準】定期試験（前期試験）で評価する。いわゆる出席点はつけない。

【備考】（担当教員に対する質問等の連絡方法）

来室する前に、メールで予約する。

e-メールアドレス：hirayama@mb.kyoto-phu.ac.jp、TEL075-595-4658